


# 一般質問通告書

多可町議会議員 河崎 一 様

多可町議会議員 日原 茂樹 

平成26年 3月14日	
受	午前
領	午後 9時57分

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
-----------	---------

北はりま定住自立圏共生ビジョンの進捗状況とその成果	町長
---------------------------	----

本格的な人口減少社会の到来により、多可町においても、今後、急激な人口減少と少子高齢化の進行が予想されています。また、地方分権から地方主権への流れの中、地域が知恵を出し、創意工夫をしながら地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを進めることが強く求められており、特に住民に一番身近な存在である多可町役場の役割は益々重要になっています。

そのような中、総務省は全国各地で定住自立圏構想を進めています。

多可町においても平成22年10月6日に北はりま定住自立圏形成協定を、西脇市との間で締結し、平成23年3月に「北はりま定住自立圏共生ビジョン」が策定されました。

医療、福祉、教育、文化、産業振興、地域公共交通、交通インフラ整備、地域資源の活用による交流の促進人材の育成確保等、あらゆる面で取り組みがなされていますが、その取り組みの進捗状況と成果はどのようになっていますか。

住民生活の利便性の向上につながる政策展開や圏域の特性や地域資源を生かした新たな価値の創造に積極的に努め、圏域全体の活性化を図ると謳ってありますが、本当に活性化が図れるのでしょうか。

また町民に共生ビジョンはどのように周知されているのでしょうか。

町長の見解を伺います。